

September 16, 2021

**【前日の為替概況】ドル円、早期テーパリング開始観測の後退で109.11円まで続落**

15日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続落。終値は109.38円と前営業日NY終値(109.69円)と比べて31銭程度のドル安水準だった。米連邦準備理事会(FRB)の早期テーパリング観測が後退する中、欧州株安に伴う円買い・ドル売りが入り、21時30分前に一時109.11円と8月16日の安値に面合わせした。中国の不動産開発大手、中国恒大集団のデフォルト懸念を背景に、リスク回避的な円買い・ドル売りも入った。

ただ、9月米NY連銀製造業景気指数が34.3と予想の18.0を大きく上回ったことが分かったと買い戻しが優勢に。米長期金利の指標である米10年債利回りが1.31%台まで上昇したことも相場を下支えし、3時30分前には109.45円付近まで下げ幅を縮めた。ダウ平均が一時300ドル超上昇したことで、投資家の過度なリスク回避姿勢が後退し円売り・ドル買いが出た面もあった。

ユーロ円も続落。終値は129.24円と前営業日NY終値(129.47円)と比べて23銭程度のユーロ安水準。ドル円の下落につれた売りが先行したほか、欧州株安に伴うリスク・オフの円買いが入り一時129.06円と日通し安値を付けたものの、売り一巡後は下げ渋った。米国株相場の上昇に伴う円売り・ユーロ買いが出て129.28円付近まで下げ幅を縮めた。

ユーロドルは4営業日ぶりに小反発。終値は1.1817ドルと前営業日NY終値(1.1803ドル)と比べて0.0014ドル程度のユーロ高水準だった。欧州時間に一時1.1832ドルと本日高値を付けたものの、良好な米経済指標を受けて米長期金利が上昇するとユーロドルには売りが出た。2時前に一時1.1803ドル付近まで値を下げ、アジア時間に付けた日通し安値1.1799ドルに迫った。

カナダドルは堅調だった。8月カナダ消費者物価指数(CPI)が予想を上回ったことを受けて、カナダドル買いが先行。原油先物相場の大幅上昇を背景に、産油国通貨とされるカナダドルに買いが集まると、米ドルカナダドルは一時1.2625カナダドル、カナダドル円は86.64円までカナダドル高に振れた。

**【本日の東京為替見通し】豪8月雇用統計と中国恒大関連の続報に要警戒か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、来週21-22日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で年内のテーパリング(資産購入の段階的縮小)開始が表明される可能性が低下していること、中国の不動産開発大手、中国恒大集団のデフォルト(債務不履行)への警戒感から上値が重い展開が予想される。

昨日、中国当局が不動産開発大手、中国恒大集団の主要債権銀行に、今月20日が期限の利払いが履行できないと伝えた、と報じられた。中国恒大集団は、「中国のリーマン」になるのではないかと警戒されており、返済期限が延長されるのか否か、続報を待つことになる。

8時50分に発表される日本の8月貿易収支では、対米貿易黒字に要注目となる。昨年の1-7月の対米貿易黒字は2兆2605億円だったが、今年1-7月は3兆4726億円まで拡大している。バイデン米政権はトランプ前政権のように貿易不均衡の是正に関心がないもようだが、米国の貿易赤字は過去最大規模に拡大しつつあり、国内総生産(GDP)の減少要因となることで、要注目か。

10時30分に発表される8月豪雇用統計では、失業率の予想は4.9%で、7月の4.6%から上昇、新規雇用者数の予想は9万人の減少で、7月の2200人増からの悪化が見込まれている。7月は、デルタ株感染対策のロックダウンにより労働参加率が66.0%に低下しており、8月もロックダウンの悪影響によるネガティブサプライズに要警戒となる。

本日のドル円のオーダー状況は、上値には、109.50-60円に断続的にドル売りオーダー、109.70円にドル売りオーダー、本日のNYカットオプション、109.80円から110.50円にかけて断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、109.10円にドル買いオーダー、109.00円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

**【本日の重要指標】** ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ◎ 8月貿易統計（通関ベース、予想：季節調整前 477 億円の赤字、季節調整済 1087 億円の黒字）
- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 未定 ◇ 9月月例経済報告

## &lt;海外&gt;

- 07:45 ☆ 4-6 月期ニュージーランド（NZ）国内総生産（GDP、予想：前期比 1.3%/前年比 16.3%）
- 10:30 ◎ 8月豪雇用統計（予想：失業率 4.9%/新規雇用者数▲9.00 万人）
- 17:00 ◎ レーン・フィンランド中銀総裁、講演
- 18:00 ◇ 7月ユーロ圏貿易収支（予想：季節調整前なし/季節調整済 149 億ユーロの黒字）
- 21:00 ◎ ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁、講演
- 21:15 ◇ 8月カナダ住宅着工件数（予想：26.80 万件）
- 21:30 ◇ 7月対カナダ証券投資
- 21:30 ◇ 7月カナダ卸売売上高（予想：前月比▲2.0%）
- 21:30 ☆ 8月米小売売上高（予想：前月比▲0.8%/自動車を除く前月比▲0.1%）
- 21:30 ◎ 9月米フィラデルフィア連銀製造業景気指数（予想：18.8）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数（予想：33.0 万件/278.5 万人）
- 23:00 ◇ 7月米企業在庫（予想：前月比 0.5%）
- 17 日 05:00 ◎ 7月対米証券投資動向
- メキシコ（独立記念日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

15 日 11:14 バイデン米大統領

「習近平・中国国家主席が対面会談提案を合意しなかったという報道は誤り」

15 日 14:21 中国政府

「中国恒大は、今月 20 日期限の利払いはしない」

15 日 15:34 米軍

「北朝鮮の直近のミサイル発射、米国や同盟国への差し迫った脅威にはならず」

15 日 16:34 ジャビド英保険相

「インフレの上昇は一時的なものだと考えている」

15 日 17:57 デコス・スペイン中銀総裁

「インフレの上昇圧力が持続した場合、ECB には対処する方法がある」

「インフレ動向を注視する」

「今のところ、インフレ影響の第 2 波は見られない」

15 日 21:28 黒田東彦日銀総裁

「日本経済、依然として深刻な状況」

「日本のインフレ、一時的な要因を除けばわずかにブ明日」

15 日 23:30 トルドー加首相

「(8 月 CPI の結果について)カナダはパンデミックから回復している」

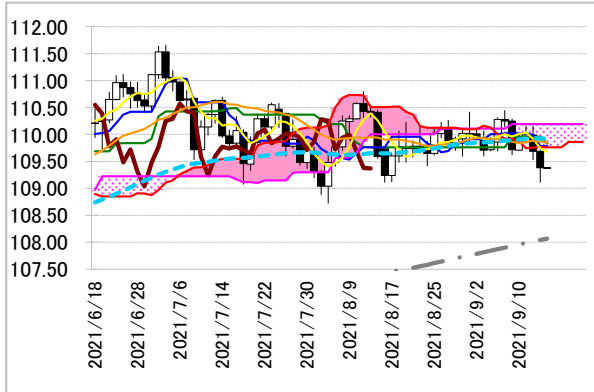
16 日 00:52 レーン欧州中央銀行(ECB)専務理事兼チーフ・エコノミスト

「PEPP の額は ECB の金融政策スタンスの指標ではない」

「イールドカーブは依然として低い」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

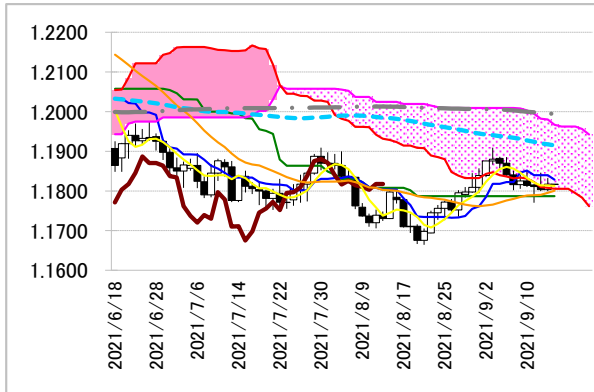


### <ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。2手連続陰線で下落して、転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	110.19(日足一目均衡表・雲の上限)
レジスタンス 1	109.78(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	109.38
サポート 1	108.72(8/4 安値)
サポート 2	108.56(5/25 安値)

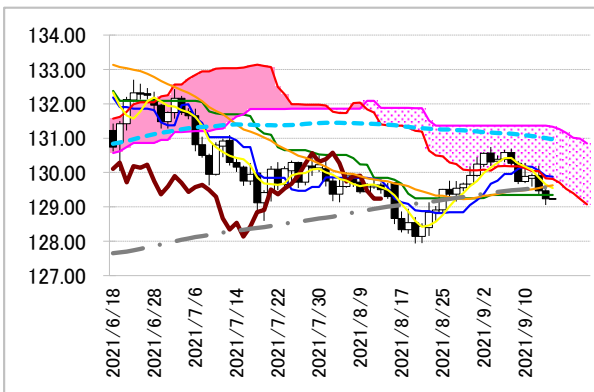


### <ユーロドル＝9/10 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の中で引けているものの、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、抱き線で反発したものの、転換線を下回って引けていることで反落の可能性が示唆されている。

本日は、9月10日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1851(9/10 高値)
前日終値	1.1817
サポート 1	1.1787(日足一目均衡表・基準線)

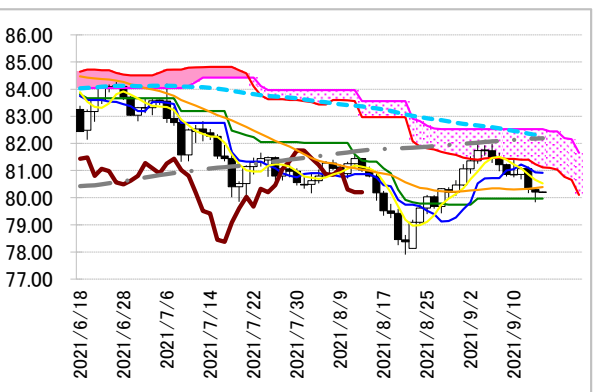


### <ユーロ円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることから、売りシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陰線で下落して転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	129.88(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	129.24
サポート 1	128.60(8/24 安値)



### <豪ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることから、売りシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陰線で下落して転換線を下回って引けていることから続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	80.91(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	80.20
サポート 1	79.42(8/27 安値)

